

# 東日本大震災の犠牲者を追悼し、被災者にお見舞い申し上げます

## 浄苑四季報

浄苑四季報 号外

平成23年4月8日刊

京都市山科区上山旭山町8-1

東本願寺東山浄苑

TEL 075-541-8391 FAX 075-531-1663

発行責任者 浄苑四季報編集委員

### 題字

本願寺法主  
一般財団法人 本願寺文化興隆財団理事長  
東本願寺東山浄苑苑主  
大谷暢順 台 下



▲身元不明の遺体の前で勤行

大谷暢順東本願寺東山浄苑苑主(本願寺法主、本願寺文化興隆財団理事長)は4月8日、東日本大震災で未曾有の被害を受けた宮城県に向け、浄苑と本願寺眞無量院職員による使僧団を派遣した。一行は、仙台市と同県の災害対策本部、県警の協力を得て、県内の遺体収容所等を巡拝。3日間かけて約1000体の遺体に読経するとともに、避難所に2000連の念珠等を届けた。また、同県の浄苑檀籍者に大谷苑主の親書(別掲)と、参詣者等から寄せられた見舞金を手渡し、被災地で追悼法要を厳修した。

## 使僧団 1000体の遺体に追悼法要

3月11日に発生した国難・大震災に対し、大谷苑主は震災日から毎日、嘉枝堂本堂で犠牲者追悼法要を執行。春彼岸中には参詣者や浄苑職員、有志から見舞金を募り、1日も早い復興を念じていた。さらには、地震による犠牲者を出した東北、関東の檀籍者約1500人に浄苑と有志からの見舞金を送ることにした。

その一方で、大谷苑主は犠牲者の葬儀がままならない状況に鑑み、浄苑と本願寺眞無量院職員による使僧団を結成し、被災地へ派遣することを決定。併せて、避難所生活を余儀なくされる遺族の要望に応え、念珠や口ウソク、線香等を届けることにした。

### 県警等の協力求めて

山形経由で仙台入りした一行は、仙台市役所、宮城県庁、宮城県警、そして、京都府の災害対策本部を訪れ、今回の巡拝への協力を求めた。宮城県警によると、県内の遺体総数は7431体(4月3日現在)。そのうち、身元不明となつている遺体1792体を仙台、石巻、女川、気仙沼等にある18の安置所に収容し、身元確認と遺族による引き取り作業にあたっている。

一行はまず、175体の遺体を仮安置する宮城県利府町のセキスイハイムスーパードリーナに向かった。県警の特別配慮により、身元不明の遺体を納めた棺の前で追悼法要を勤めるとともに、遺体確認に訪れる遺族にと、念珠、口ウソク、線香を県警に手渡した。法要には対策本部職員等も参列し、県警から「温かなお心を必ず遺族の人たちへ伝えます」と感謝された。

また、他の市町村に先駆けて仙台市に支援本部を立ち上げた門川大作京都市長から、「自己完結能力」「事務処理能力」と言った被災地ボランティアに求められる条件を聞き取る等の準備も進めていた。

3月31日には使僧団派遣式を全職員参列の下、嘉枝堂本堂で執行。大谷苑主は親書や見



続いて、一行は宮城県石巻市へ入り、避難中だった100余名の児童の7割が死亡あるいは、行方不明になっている大川小学校を訪れた(左上写真)。北上川堤防に隣接する校舎一帯は、見渡す限り広がる黒々とした瓦礫と汚泥の山。子供たちの長靴や机、文房具等が散乱するという目を覆う惨状に茫然自失しながらも追悼法要を営み、供花を手向けた。

附近は水はけが悪く、遺体搜索が今も難航している地域。一行が小学校に到着した直後も成人の遺体が発見されたところだった。



# 東日本大震災で罹災された皆様へ

東日本大震災によって、犠牲になられた方々並びに、御遺族の皆様  
に衷心より哀悼の意を表しますとともに、罹災された皆様には謹んで  
お見舞い申し上げます。

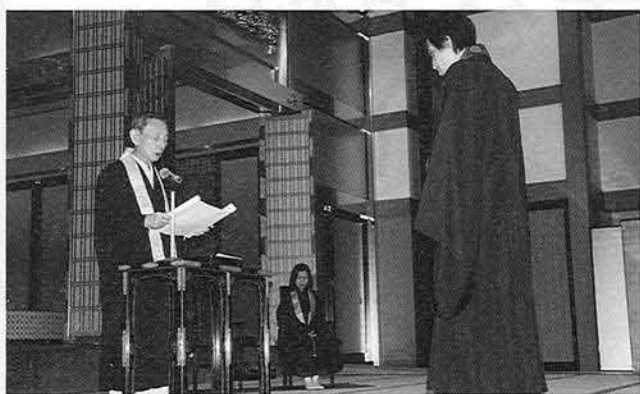
さて、未曾有の被害を被った国難・大震災を眼のあたりにし、佛  
法に説かれる「無常」を想起しつつ、次の御開山親鸞聖人の御和讃に  
思いを寄せて、尊い生命を落とされた方々の追悼法要を日々、東本  
願寺東山浄苑に於いて厳修しております。

生死の苦海ほとりなし

ひさしくしづめるわれらをば

彌陀弘誓のふねのみぞ

のせてかならずわたしける（親鸞聖人御和讃）



▲親書を使僧団に託す大谷苑主

平成二十三年四月一日

この度、私の意を体した東本願寺東山  
浄苑使僧団が被災地を巡回し、当浄苑の  
壇籍者を含む全ての犠牲者の方々への追  
悼法要をお勤め致します。

また、葬儀もままならない状況を鑑  
み、お念珠、線香をお届けするととも  
に、当浄苑並びに春彼岸中に寄せられた  
参詣者、職員、有志一同からのお見舞い  
金もお渡しすること致しました。

苦渋の生活を強いられる罹災者の方々  
に於かれては、どこまでも佛法にお心懸  
下さり、佛祖の御冥祐の下、一日も早く  
復興されることを願ってやみません。

合掌

本願寺法主

東本願寺東山浄苑苑主

本願寺文化興隆財団理事長

大谷暢順

## 「初めてお経を」

今回の巡拜で惨状を極めた  
のは、合計800余体の遺体  
が安置されている旧石巻青果  
花き地方卸売市場と東松島小  
野地区体育館。避難所が隣接  
しており、遺体を確認して泣き  
崩れる遺族から「お坊さんの  
炊き出し等はあったが、お経  
をあげてもらえたのは初め  
て」との言葉が涙ながらに寄  
せられた。

一行は、親鸞聖人の和讃に  
ある

『思愛はなはだたちがたく  
生死はなはだつきがたし  
念仏三昧行じてぞ  
罪障を減し度脱せし』

に思いを馳せ、生死の別離に  
ともに涙しつつ、念珠等を遺  
族に手渡した。  
日没したため、遺体収容所  
の石巻北高校飯野川校の校門  
前で、この日最後となる追悼  
法要を勤め、仙台市内へ帰投  
した。

## 壇籍者、

## 住民とともに

翌日、一行は同県の浄苑  
壇籍者である赤塚寿勝さん  
と合流し、約300体の遺  
体が流れ着いた仙台市若林  
区荒浜の海岸で追悼法要を  
厳修した。一帯は凶器と化し  
た津波の破壊力によって、  
アスファルトの舗装すら

剥ぎ取られ、空襲を受けた  
のではと見まちがうほど。  
大谷苑主と東本願寺東山浄  
苑護持会からの佛花を供え  
ると、近隣の住民たちが  
次々と参集してきた。  
追悼法要では赤塚さんを  
はじめ、住民による献花、  
大谷苑主による親書の奏  
上、見舞金の手交、法話と  
続き、一同は佛法による心  
の復興に願いを寄せた。赤  
塚さんは「これだけきめ細  
やかな対応して下さい、有  
難い」と深々と頭を下げ、  
大谷苑主に感謝した。  
最後に、一行は巡拜の協  
力を得た県警を訪問、被災  
者への念珠等を託し、帰洛  
した。

## 各地で勤行 2000連の念珠、線香等手渡す



多くの児童が犠牲になった  
大川小学校前



壇籍者へ大谷苑主の  
親書を手交



供花をし、  
市民とともに合掌